

ベトナムの生活を知ろう



註 1 Non nước Việt Nam
Tổng cục du lịch Việt
Nam,
Trung tâm công nghệ
thông tin du lịch
Hà Nội, 2004

目次

芸能	1
一 チェオ	2
二 トウオン	5
三 カイルオン	8
四 水上人形劇	12
五 舞踏	16
風俗習慣	23
一 ランとフォン	24
二 タインホアンを祭る	28
三 祖先崇拜	30

一〇	葬式	48
九	長寿の祝い	46
八	新築祝い	44
七	婚礼	40
六	きんま	38
五	収穫祭	36
四	親族	32



芸能



一 チエオ

古都ホアル（現在のニンビン省）はチエオ（註1）の故地とされている。チエオの創始者はファン・テイ・チャン（范氏珍）という女性で、一〇世紀ディン（丁）朝の宮廷内で歌と踊りの才能を認められた人だった。その後この歌と踊りが発展し北部へと広がり、その地域はゲティン省にまで及んだ。

かつてチエオはチユム（註2）と呼ばれる男性を中心に形成されたフオン（註3）（坊）によつて村々を回つて上演された。団員はおよそ一〇、一五人で構成され、重要な役割を果たす打楽器奏者を含め女優（ダオ）や男優（ケップ）、老人（ラオ）や老婆（ム）、道化（ヘー）（註4）役がいた。チエオには決まつた型があり、それは舞台の造りにも窺える。道具や幕はなく、布を垂らして演じる場所を仕切るだけだった。芝居は広げられた二枚のござの上で行われ、お客はそれを三方から取り囲むようにして見物する。興行は村の中心であるディン（註5）（亭）で行われ、幕開けには始まりの歌と共に太鼓が打ち鳴らされ役者が前口上を述べる。終幕には終

りの歌と共に再び太鼓が鳴らされた。

チエオは物語劇に分類され、観客が上演中に演者に掛け声をかけるなど両者は緊密な関係にある。役者が名前（役柄）を名乗るので、観客には話が分かりやすく親しみ易い。トウオン（註）と同じく伝統劇であるチエオではチヨンチャウ（註）（歌に合わせて打つ太鼓）が特別な役割をしている。チヨンチャウを扱う人はフォンの中でも中心的存在で、芝居の流れを仕切り役者の出来も判断する。

チエオは踊りや歌、音楽が滑稽な昔語と一体化したものである。使われている言葉は叙情的で民謡や諺が盛り込まれ、農民の知恵と屈託のない笑いに満ちている。筋立ては明快で生きる術や善行を説いている。古典的な作品は東方の伝統に従い「めでたし、めでたし」で終わる。多くの作品が民族の古い芸能の源となっている。

時代を超えて、チエオの太鼓の響きは、年齢や社会的地位に関係なく、どんな人をも惹きつける不思議な力を持っている。ベトナムのチエオは存続が危ぶまれるという苦しい時期も経験した。しかし、現在は民族的魅力に溢れた芸能として再認識されてきている。



註 1 chèo

註 2 trùm

同業者による組織で指導的立場の人

註 3 phường 同業者による組織

註 4 đào 女優 kếp 男優 lão 老人

mụ 老婆 hè 道化

註 5 đình 昔の村の公共の建物。村の守護神を奉ったり、集会場として使われた

註 6 tuồng ベトナムの古典芸能の一つ
詳細後述

註 7 trống chầu

(吉見)